



日本シイエムケイ株式会社  
(証券コード：6958)

# 2023年3月期 決算説明会資料

2023年05月16日

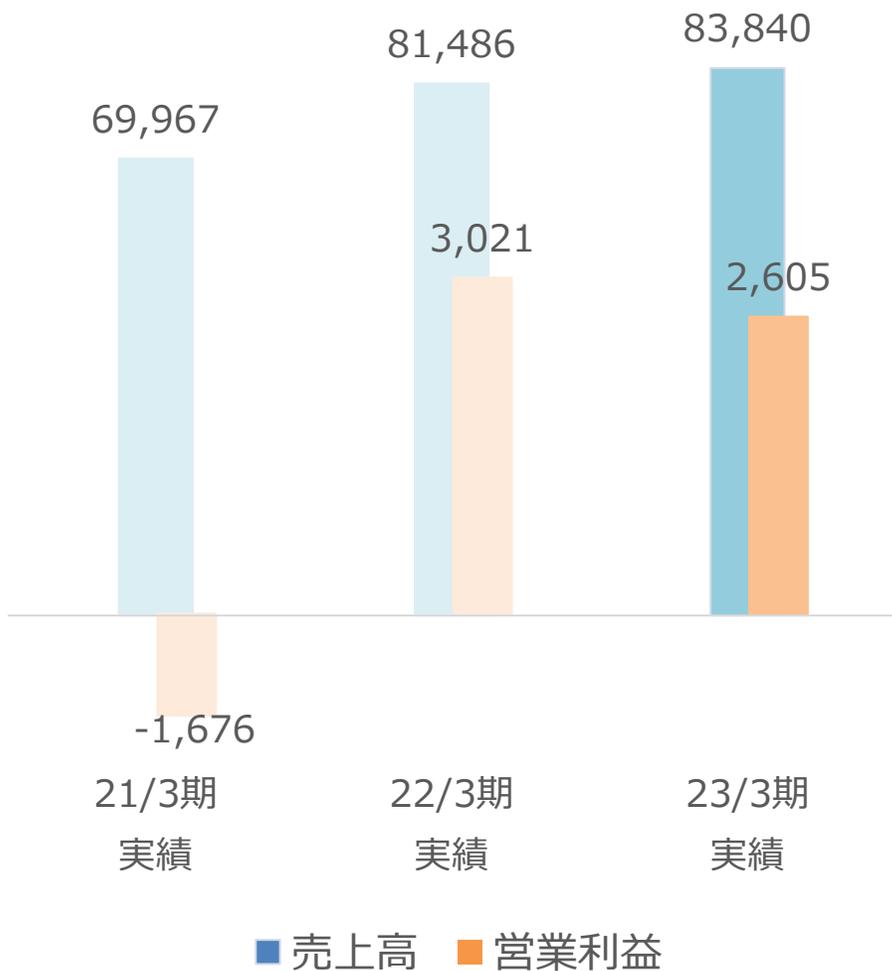
日本シイエムケイ株式会社

1. 2023年3月期 連結業績
2. 2024年3月期 連結業績見通し
3. 中期成長戦略
4. 補足資料

# 1. 2023年3月期 連結業績

## ① 決算のポイント

(単位：百万円)



- 受注が低調に推移したものの、為替や在庫販売等の影響により、売上高は増加
- 生産工場の稼働率低下等の影響により、営業利益は減益

## ② 連結損益

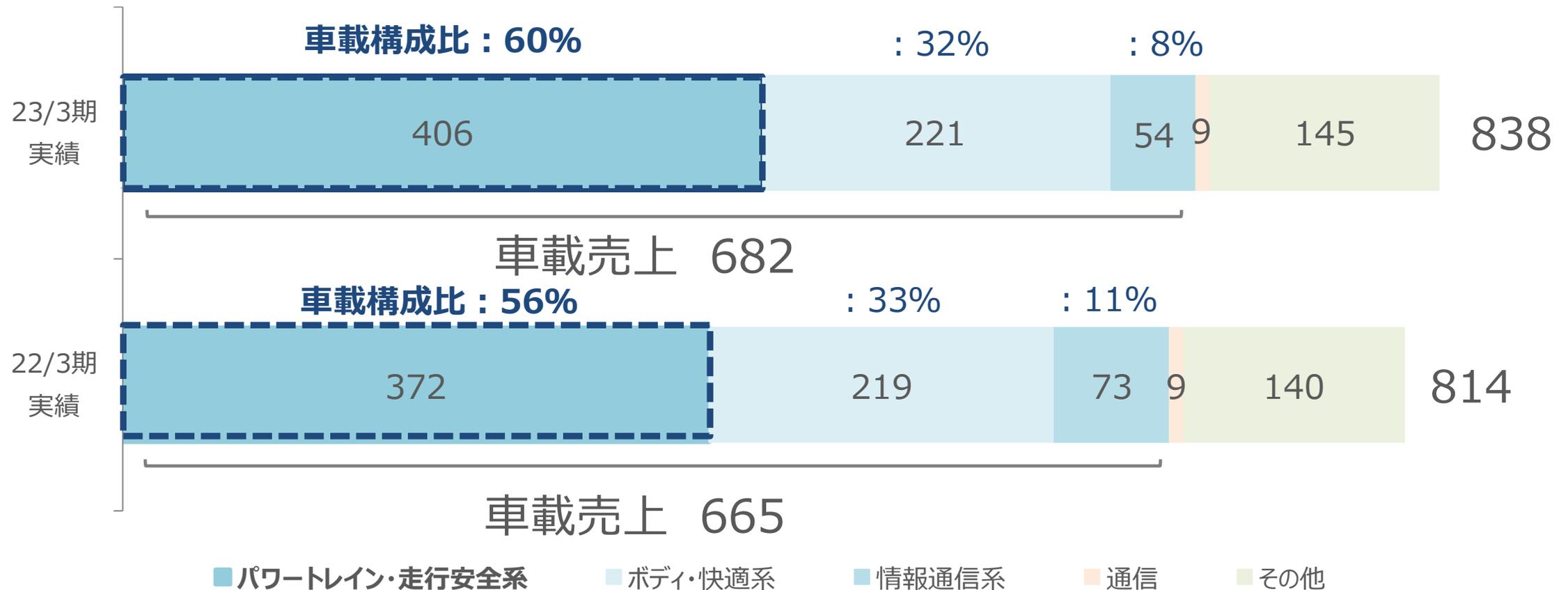
(百万円)	22/3期 実績	23/3期 実績	増減額	増減率
売上高	81,486	83,840	+2,354	+3%
営業利益	3,021	2,605	-415	-14%
率	3.7%	3.1%	-0.6%	-
経常利益	3,305	2,622	-682	-21%
当期純利益	2,785	1,588	-1,196	-43%
平均為替レート (USD/JPY)	110.39	132.09	+21.70	+20%

※「親会社株主に帰属する当期純利益」を「当期純利益」として記載

## ③用途別売上高



(単位：億円)



- 車載向け売上高の内、注力分野のパワートレイン・走行安全系向けの構成比が約60%となり、前期比約4ポイント増加し、プロダクトミックスは改善

## ④ 営業利益増減分析

(単位：億円)



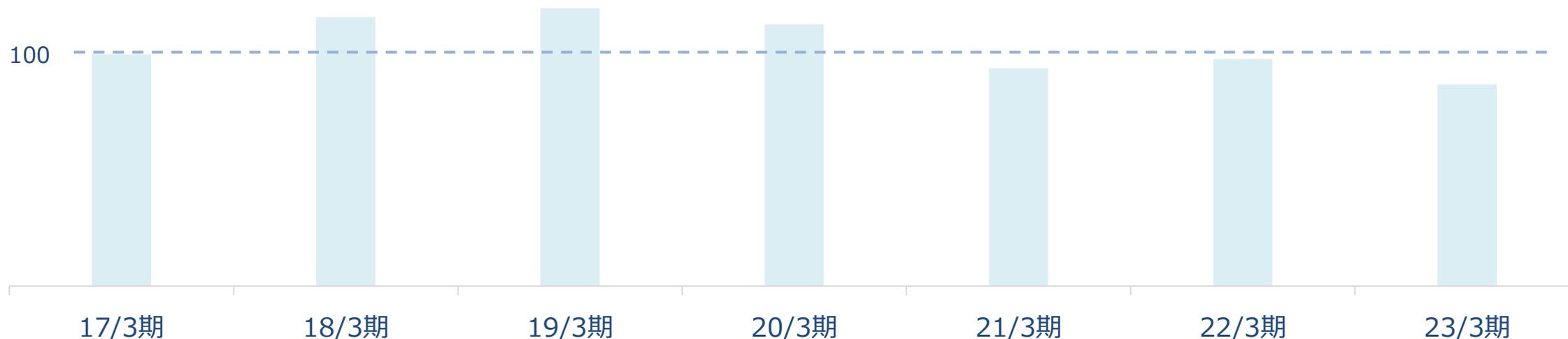
- 受注が低調に推移し、生産工場の稼働率が低下したこと等により、営業利益は減益

## ⑤ 振り返り



(億円)	17/3期 実績	18/3期 実績	19/3期 実績	20/3期 実績	21/3期 実績	22/3期 実績	23/3期 実績
売上高	753	868	902	826	699	814	838
営業利益	26	42	37	16	-16	30	26
率	3.5%	4.9%	4.2%	1.9%	-2.4%	3.7%	3.1%
平均為替レート (USD/JPY)	109.28						132.09
(USD/RMB)	6.67						6.77
(USD/THB)	35.25						35.22

## 生産指数



\* 生産指数：17/3期を100とした場合（生産キャパシティに対する指数ではない）

## 2. 2024年3月期 連結業績見通し

# ① 連結損益及び配当金

(百万円)	23/3期 実績	24/3期 見通し	増減額	増減率
売上高	83,840	85,000	+1,159	+1%
営業利益	2,605	2,700	+94	+4%
率	3.1%	3.2%	+0.1%	-
経常利益	2,622	2,500	-122	-5%
当期純利益	1,588	1,900	+311	+20%
配当金/1株	8.50	10.00		
配当性向	31.7%	31.2%		

※「親会社株主に帰属する当期純利益」を「当期純利益」として記載

※見通しの前提為替レート (USD/JPY) 135.00

## ②連結損益（上期・下期）

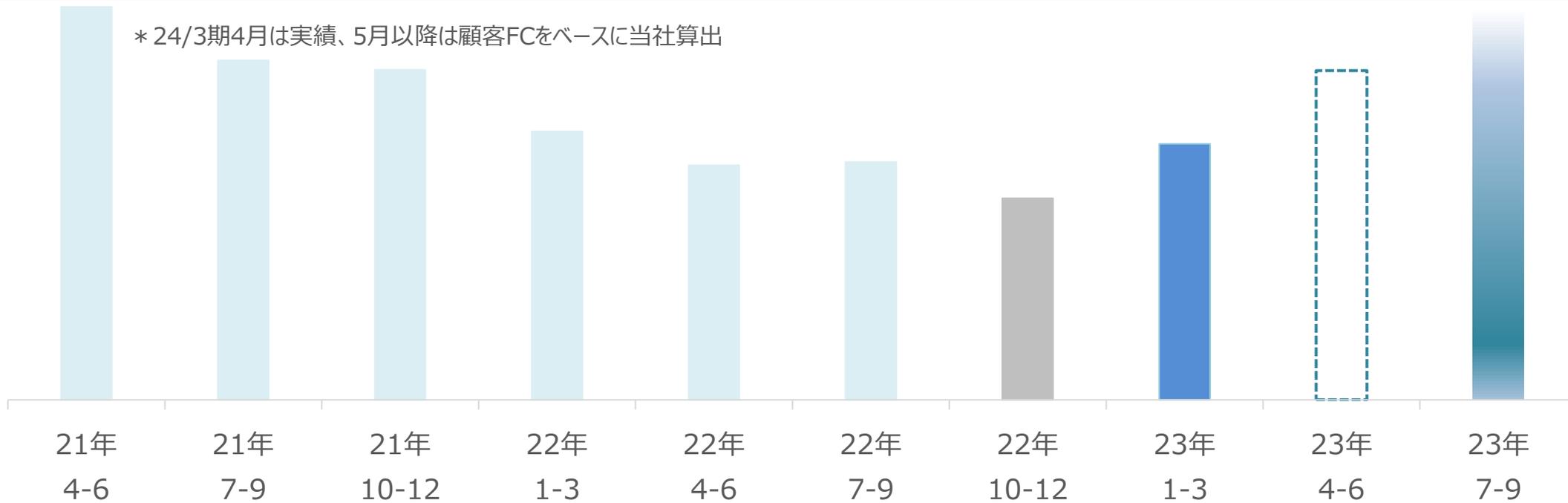
(百万円)	24/3期 上期見通し	24/3期 下期見通し	増減額	増減率
売上高	41,000	44,000	+3,000	+7.3%
営業利益	200	2,500	+2,300	-
率	0.5%	5.7%	+5.2%	-
経常利益	250	2,250	+2,000	+800%
当期純利益	150	1,750	+1,600	-

※「親会社株主に帰属する当期純利益」を「当期純利益」として記載

※見通しの前提為替レート（USD/JPY）135.00

# ③受注推移・商品及び製品在庫推移

受注推移

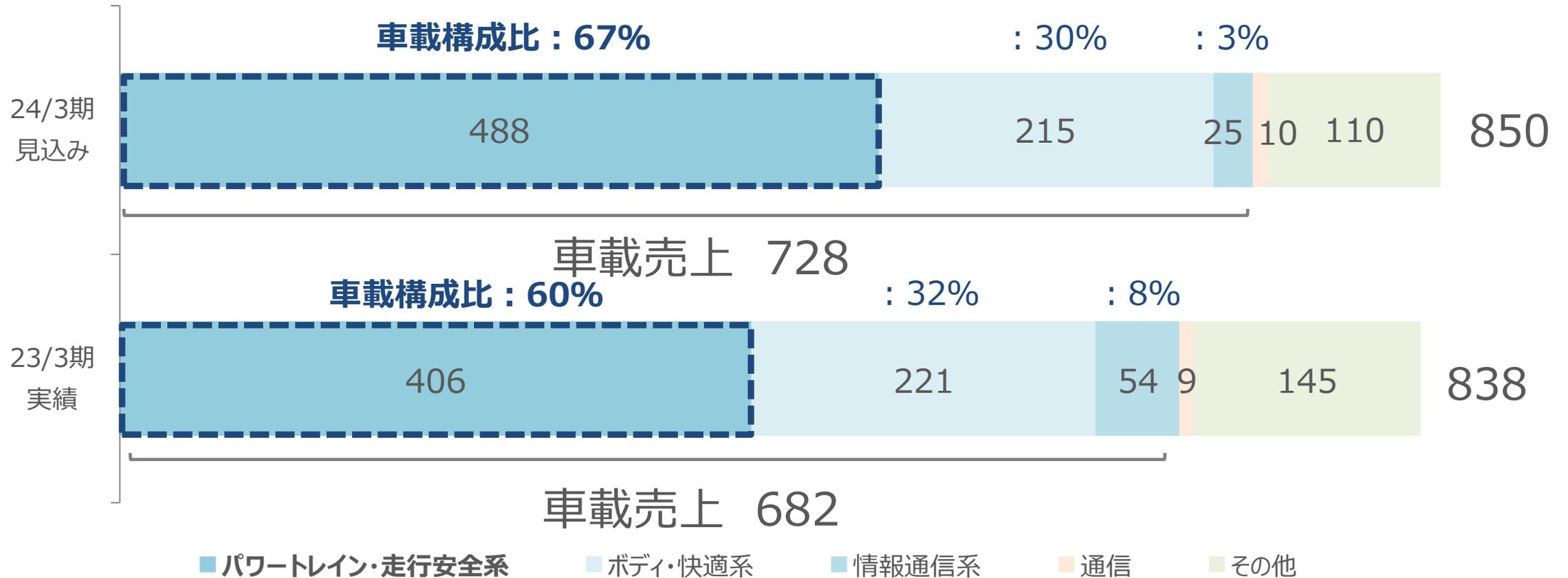


商品及び製品在庫推移



# ④用途別売上高

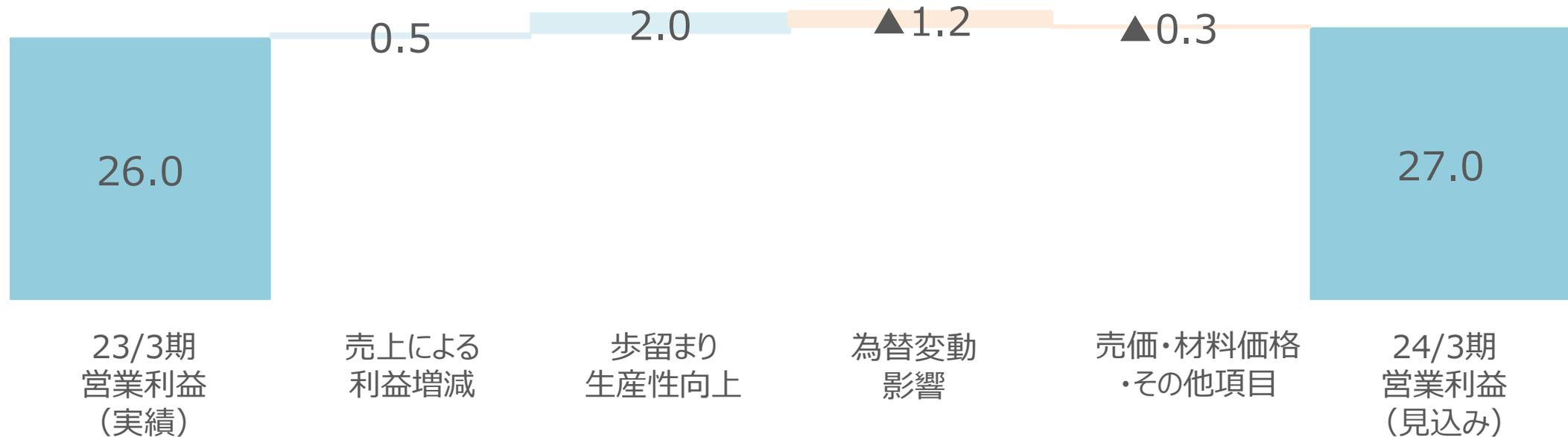
(単位：億円)



- 車載向け売上高の内、注力分野のパワートレイン・走行安全系向けの構成比が約67%となり、前期比約7ポイント増加し、プロダクトミックスは改善

## ⑤ 営業利益増減分析

(単位：億円)



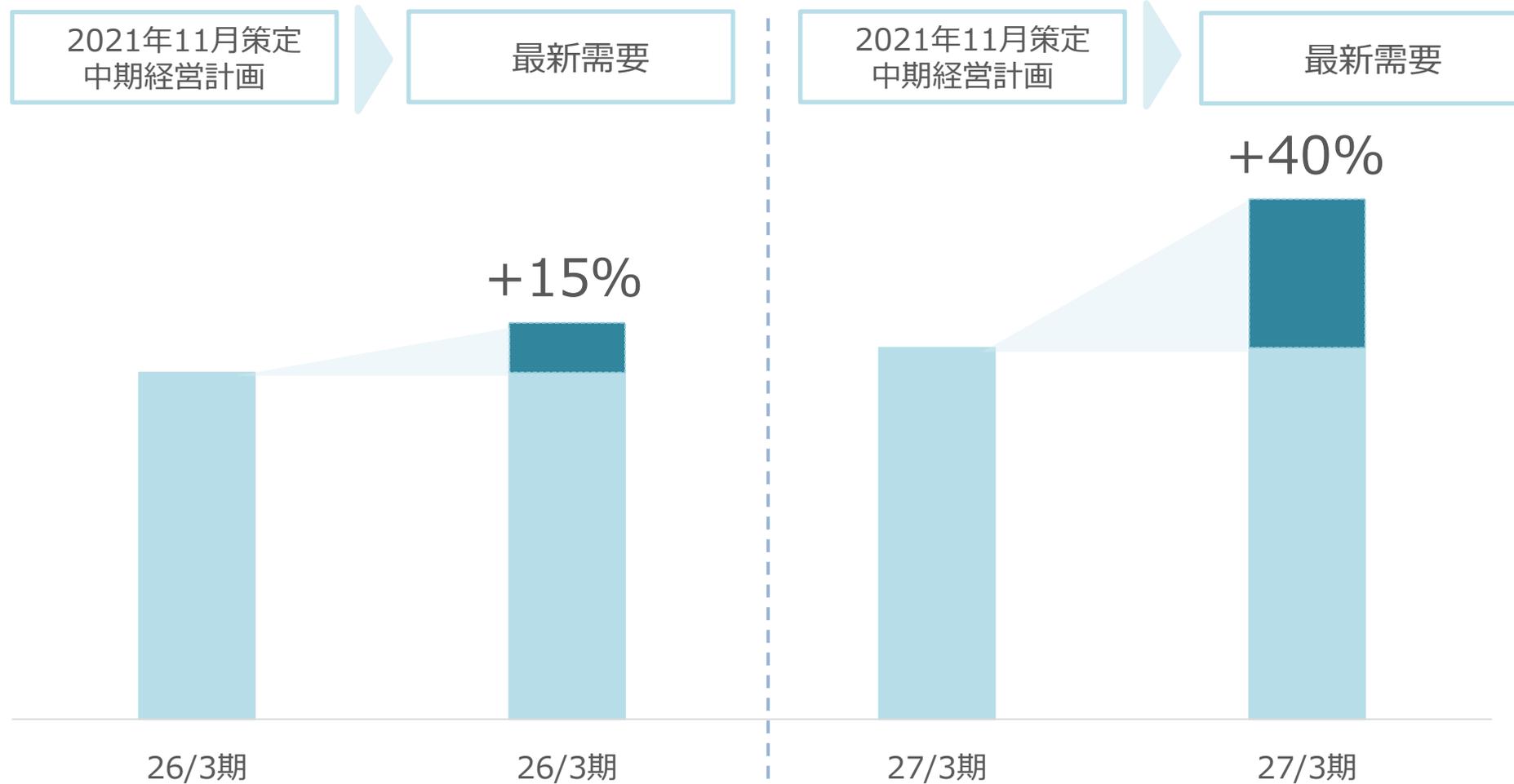
- 上期は稼働率低下のマイナス影響があるものの、下期の受注回復局面での稼働率向上等による利益増を見込み、営業利益は微増

# 3. 中期成長戦略

## ①2021年11月中期経営計画策定時点との変化点

- 半導体不足やサプライチェーンの混乱による、自動車メーカーの生産減が続くなど**受注が低迷**
- 電動化の進展や、自動運転向けのアイテムが立ち上がる等、主要顧客の**中長期需要は非常に強い**  
(新規顧客からの引き合いも旺盛)
- サプライチェーンの地政学リスク回避の流れによる、当社**タイ工場に対する顧客ニーズが高まる**

## ② 2021年11月中期経営計画策定時点との変化点（タイ工場の中長期需要）



- 2021年11月中期経営計画策定時点に比べて、2027年3月期におけるタイ工場の中長期需要は数量ベースで約40%増加

### ③タイ新工場建設（再掲）

CASE需要取り込による成長サイクルの確立を実現する為、タイに新工場を建設し、生産能力を拡大

#### 工場概要

所在地 : タイ王国 プラチンブリ県  
延床面積 : 約102,000㎡  
生產品目 : ビルドアップ配線板、多層プリント配線板  
投資額 : 約250億円（第一期投資）  
稼働開始 : 2024年8月より順次（予定）

#### 生産コンセプト

- ・車載製品ポートフォリオの高付加価値シフト（ビルドアップ生産比率の向上）
- ・大判化による生産性向上及び自動化による省人化・歩留まり向上  
⇒コスト競争力強化
- ・フィルム使用工程を無くし、サステナブルな工場へ



# ④タイ新工場建設（進捗状況）

2023年3月（現工場側視点）



2023年5月現時点



スケジュール	22年	23年				24年				25年	
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	
工場建設完了（24年6月末）		→									
設備設置、評価立ち上げ完了（24年8月末）			→								
稼働開始							→				

- 2022年12月より工場建築着工～（現在進行中）
- 2024年8月より順次稼働開始予定

# ⑤ 中期経営計画の定量目標

実績・見通し (億円)	23/3期 (実績)	24/3期 (通期見通し)		25/3期	26/3期	27/3期
		(上期)	(下期)			
売上高	838	410	440			
営業利益	26	2	25			
率	3.1%	0.5%	5.7%			
当期純利益	15	1	17			
ROE	2.9%					

中計 (2021/11策定) (億円)	23/3期 (中計)	24/3期 (中計)	25/3期 (中計)	26/3期 (中計)	27/3期 (中計)
売上高	790	810	840	900	1,000
営業利益	40	45	55	65	80
率	5.1%	5.6%	6.5%	7.2%	8.0%
当期純利益	28	31	38	45	56
ROE	5.6%	6.0%	7.0%	7.7%	9.0%

定量目標見直し予定



PBR向上に向けて

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けては、現在、現状分析及び改善に向けた取り組みを検討しております。取り組みがまとまり次第、速やかに開示いたします。

## 4. 補足資料

## ①用途別売上高



	(億円)	22/3期 実績	23/3期 実績	増減額	増減率	24/3期 見通し
車載		665	682	+17	+3%	728
車載内訳	パワートレイン・走行安全系	372	406	+34	+9%	488
	ボディ・快適系	219	221	+1	+1%	215
	情報通信系	73	54	-18	-25%	25
通信		9	9	+0	+5%	10
その他		140	145	+5	+4%	110
合計		814	838	+23	+3%	850

※「その他」：AV・デジタル家電、デジタルカメラ、アミューズメント、その他

## ②基板種類別売上高



(億円)	22/3期 実績	23/3期 実績	増減額	増減率	24/3期 見通し
ビルドアップ配線板	210	205	-5	-3%	257
多層プリント配線板	440	476	+35	+8%	454
両面プリント配線板	106	100	-5	-5%	87
その他	56	55	-1	-2%	51
合計	814	838	+23	+3%	850

## ③地域別業績



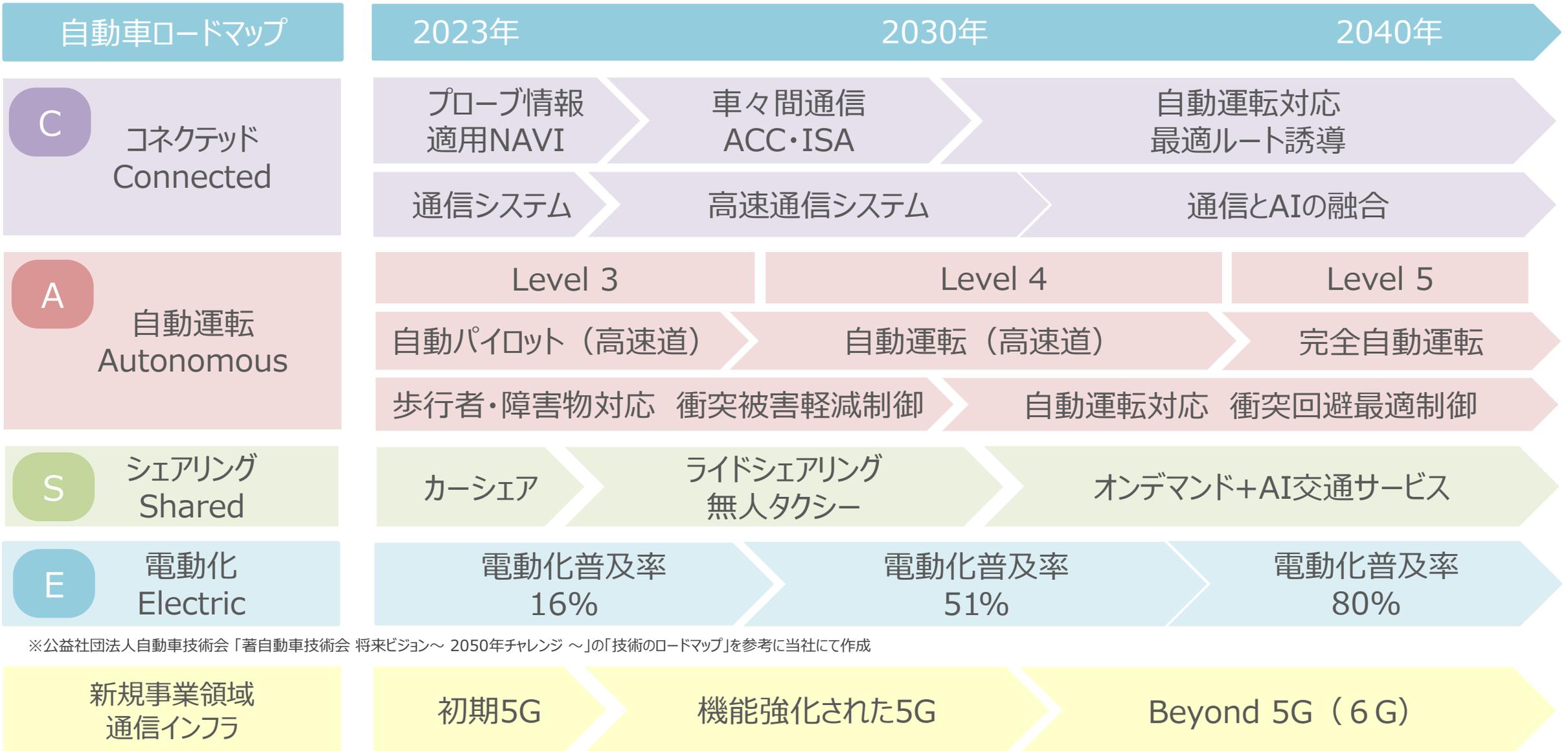
(億円)		22/3期 実績	23/3期 実績	増減額	増減率	24/3期 見通し
日本	売上高	494	490	-3	-1%	505
	営業利益	22.6	5.0	-17.6	-78%	7.0
中国	売上高	299	326	+27	+9%	320
	営業利益	7.0	16.7	+9.6	+137%	12.0
東南アジア	売上高	252	284	+31	+13%	290
	営業利益	10.7	12.8	+2.1	+20%	10.0
欧米	売上高	37	40	+3	+9%	55
	営業利益	1.4	1.9	+0.4	+32%	3.0
消去又は全社	売上高	▲269	▲304	-34	-	▲320
	営業利益	▲11.6	▲10.4	+1.2	-	▲5.0
連結	売上高	814	838	+23	+3%	850
	営業利益	30.2	26.0	-4.1	-14%	27.0

## ④設備投資



(億円)	22/3期 実績	23/3期 実績	増減額	24/3期 見通し
国内	40	18	-21	20
海外	22	49	+26	56
連結	62	67	+5	76
減価償却費	42	47	+5	48

# ⑤-1.CASE自動車及び新規事業領域のロードマップと対応状況



※公益社団法人自動車技術会「著自動車技術会 将来ビジョン～ 2050年チャレンジ～」の「技術のロードマップ」を参考に当社にて作成

※総務省「Beyond 5G推進戦略 -6Gへのロードマップ-」を参考に当社にて作成

# ⑤-2.CASE自動車及び新規事業領域のロードマップと対応状況



市場の要求	アイテム	基板への要求	当社の技術革新
<p><b>C</b>  <b>コネクテッド Connected</b></p>	<p>通信モジュール 5G,V2X エン터테인먼트 IVI</p>	<p>低損失 SoCプロセッサ搭載</p>	<p>低誘電材、特性インピーダンス制御 多段HDI、微細回路 MSAP</p>
<p><b>A</b>  <b>自動運転 Autonomous</b></p>	<p>ミリ波レーダー センシングカメラ</p>	<p>アンテナ回路精度安定 小型化、3次元</p>	<p>高精細回路形成 MSAP 多段HDI、高板厚リジッドフレックス</p>
<p><b>S</b>  <b>シェアリング Shared</b></p>	<p>車載AI搭載 インフラ向けユニット</p>	<p>AIプロセッサ搭載 高多層、小径VIA</p>	<p>低誘電材、特性インピーダンス制御 多段HDI、高アスペクト</p>
<p><b>E</b>  <b>電動化 Electric</b></p>	<p>統合ECU パワーモジュール</p>	<p>制御回路と電源の混在 大電流、高電圧、耐熱</p>	<p>厚銅回路、内層銅コア、高放熱材 高絶縁レジスト、放熱シミュレーション</p>
<p> <b>新規事業領域 通信インフラ</b></p>	<p>5G高速通信 基地局スモールセル</p>	<p>高多層、低損失 高密度、微細配線</p>	<p>低誘電材、高多層、高アスペクト サブトラ微細配線、バックドリル</p>

# ⑥技術ロードマップ



## 当社の革新技术

第1次中期経営計画

第2次中期経営計画

23/3期

24/3期

25/3期

26/3期

27/3期

C



高密度

多段HDI BVHスタック

多段HDI AnyLayer

微細回路 MSAP

量産中

試作

量産

開発

試作

量産

A



高機能

高精細回路 MSAP

高板厚リジッドフレックス

量産中

開発

試作

量産

S



高周波

低損失

特性インピーダンス制御

試作

量産

±10%(実測管理)

±10%(工程保証)

シミュレーション保証

E



高放熱

厚銅 + 信号回路

高熱伝導

開発

試作

量産

試作

量産



高多層

高アスペクト (Aspect Ratio)

サブトラ微細配線

AR12

AR21

AR24

開発

試作

量産

本資料における将来情報は、2023年5月時点での見通しであり、  
その実現を保証するものではありません。

(金額は切捨て、%は小数第二位を四捨五入にて表示)

END